

# 楽踊楽座 全国行脚 記録

行脚 No.44

日時	2013年9月30日
行脚先	池永城
住所	大分県中津市大字上池永（豊前国）
行事名	

## 特徴

築城年代は定かではありませんが、池永氏によって築かれたと云われています。  
池永氏は宇佐公池守の子・宇佐権大宮式佐の後裔で、薦池守となって代々守護しておりました。  
天文年間(1532年～1555年)頃は池永筑後守房勝、天正年間(1573年～1592年)頃には池永左馬頭重則が居りました。  
天正15年12月、薦神社大宮司であった池永重則が黒田氏に叛旗し、天正16年(1588年)黒田軍によって攻められ、池永重則は自刃して果てたと伝えられています。  
城跡は鬱蒼とした森林に覆われ、西側の低湿地は水堀の跡で、城屋敷・城井戸などの地名が残ります。  
付近一帯には若宮神社・巖島神社などが建てられています。

## 黒田官兵衛との関わり

天正16年(1588年)黒田氏は、黒田勢は寒江堂を本陣として池永城を囲みました。  
池永重則は、一族はもとより大貞八幡の神官・社僧を動員して総勢八百五十人で籠城しました。  
寄せ手の軍勢は三千、城門から打って出たは引きさがり、攻防を繰り返しましたといわれています。  
重則の妻は紅の小袖に白綾の鉢巻、大長刀を振るって十三人を斬り伏せたそうです。  
しかし防戦の甲斐も無く、敵は二の城戸まで打ち入ったので、重則はもはやこれまでと家臣に防矢を射させて一族二十余人と静かに自害しました。

## 記録

